



聖ペトロ・聖パウロ

カトリック延岡教会 令和4年12月

ST.Peter & ST.Paul Nobeoka Catholic Church

〒882-0825 宮崎県延岡市須崎町4-3 ☎0982-32-6501◇FAX0982-20-4640◇HPwww.nobeoka-catholic.com

No54

延岡教会年間目標「福音宣教に向けて心を尽くしましょう。」

教皇フランシスコ回勅「兄弟のみなさん」を通して

《民の権利》続き

世界が本当に万人のものであるならば、どこで生まれたとか、・・・大した事はないのです。・・・緊急に必要とされる場合にその人を寛大に受け入れること、その人の国でその人たちの地位が向上されるよう働きかけること、その国の民の人間らしい発展を妨げる腐敗した構造に加わって国全体の天然資源を使用したり枯渇させたりしないことなどがあります。国に当てはまるこの責任は、国内の深刻な不平等が少なくない諸地域にも適用されます。・・・

国際関係における新たなネットワークについて話します。個人や小集団の自助・共助だけを考えているのは、世界の深刻な問題の解決策は見えてこないからです。・・・「不平等は、個人ばかりでなく、国全体にも影響を及ぼします。ですから、国際関係における倫理について考えねばなりません。」それに、正義は、個人の権利だけでなく、社会の権利や民族の権利も認め、尊重することを求めています。いわんとすることは、・・・「国民の生存と発展という基本的権利」の保障です。・・・多くの貧困国が富裕国に対して負うこうした義務の遂行の方法が、貧困国の存続や成長を脅かすものであってはなりません。

間違いなく、これは別の倫理なのです。この倫理に入らないのなら、わたしのことばは夢物語に聞こえるでしょう。しかし、不可譲の人間の尊厳を有しているという事実のみに起因する権利の大原則が受け入れられているなら、別の人類の夢見、思い描く挑戦は可能なのです。すべての人に、土地、住居、仕事が確保されている地球を焦がれることは可能なのです。これこそが真の平和への道であり、それは、外部からの脅威に対して恐怖と不信の種を蒔く、無意味で短絡的な戦略とは異なります。真の恒久的な平和は、「人類家族全体が、

相互依存と共同責任によって築く未来に奉仕する、連帯と協働の世界的な倫理によってのみ実現可能」だからです。

第四章 全世界に開かれた心 《国境の限界》

隣人が移住者の場合、複雑な課題が加わります。・・・本人やその家族の基本的必要を満たすだけでなく、人として十分な自己実現がかなう定住先を得るという、万人が有する権利を尊重するのはわたしたちの義務です。・・・わたしたちの取り組みは、四つの動詞に要約されます。受け入れること、保護すること、向上させること、共生することです。

「大事なものは、優れた福祉プログラムを上から与える事よりも、この四つの行動を通してともに旅することです。それぞれの文化と宗教的アイデンティティを保ちつつ、相違に対して開放的で、人類兄弟愛のしるしのもとに高め合える町、国を築くためののです。」

これには、最低限必要な対策、なかでも、深刻な人道危機からの避難者に対するものが含まれています。たとえば、ビザの発給数増加と手続きの簡略化、・・・財政支援プログラムの採択、・・・信教の自由の保障、・・・共生を生む地域コミュニティの準備などです。

移住して・・・社会に溶け込んでいる人たちには、「市民」と言う概念を適用することが大切です。それは、「権利と義務が平等であることを基盤としており、そのもとで万人が正義を享受しています。だからこそ、『完全な市民権』の概念を私たちの社会に定着させ、孤立感や劣等感を生み出しうる『マイノリティ』ということばを差別的には使用しない努力が求められます。それは対立や軋轢の素地となり、差別によって、一部の市民の発展と、宗教的・市民的権利とを取り上げるのです。」

★1月号に続きます。

ミサの案内

| 主 日 | 平 日 |
|--|---|
| 18時30分～(土曜日):延岡教会 6時20分～(日曜日) :聖心ウルスラ修道院聖堂 9時30分～(日曜日):延岡教会 | 6時20分～ :聖心ウルスラ修道院聖堂 ★10時～(毎月第1金曜日) :延岡教会 |

◎ミサについて

1. 12月2日(金)は、午前10時から、初金曜日のミサが行われます。
2. 12月4日(日)待降節第2主日のミサは、「**宣教地召命促進の日**」のための**特別献金日**となります。
3. 12月24日(土)の「**主の降誕ミサ(夜半)**」は、午後7時から行われます。
4. 12月25日(日)の「**主の降誕ミサ(日中)**」は、午前9時30分から行われます。
5. 1月1日(日)の「神の母」の祭日は、「**世界平和の日**」となります。
 ※「神の母」の祭日の前晩ミサ(12月31日午後6時30分のミサはありません。)

◎「クリスマスの集い」について

1. 12月24日(土)の主の降誕ミサ(夜半)後に、信徒会館にて主の降誕の喜びを分かち合いたく、信徒会館で「クリスマスの集い」を開く予定です。
2. コロナ感染者数の状況を見ながら、教会評議会(役員会)より詳細をお知らせ致します。(集いの開催の有無など)